

広報

第56号



# 日大山形

平成24年4月28日発行

翔べ!

はばたけ!



入学式

*Be ambitious!*

平成二十四年度  
**高等学校 入学式**  
 「龍翔鳳舞」新入生の将来を祈念して

平成二十四年四月七日、本校第一体育館において、早春の淡雪が舞う中、初々しい新入生を迎え、厳肅かつ荘厳に入学式が行われた。

〈学校長式辞〉

希望の春、その生命の息吹がますます強く感じられる、この佳き日、平成二十四年度、日本大学山形高等学校入学式を挙げるにあたり、日本大学常務理事、田中範男先生をお迎えし、桜華同窓会会長、菊池敬二殿をはじめ、ご来賓各位、ならびに役員各位のご臨席を賜り、また、保護者の皆様のご列席をいただきましてこの上ない喜びでございます。教職員を代表して、厚く御礼を申し上げます。

さて、高等学校四十七名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、本校の厳しい入学試験において、学

業・人物ともに優秀と認められ、多くの志願者の中から選ばれて入学されました。皆さん一人ひとりの今日までの努力を讃えるとともに、お祝いを申し上げます。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

皆さんは、入学の喜びと、高校生活への期待に胸を膨らませ、また一方で、漠然とした不安を抱いているのではないのでしょうか。本校には情熱あふれる誠実な、真心を持った先生と心優しい先輩が待っています。どうか一日も早く本校の生活になじんで、明るく楽しい学校生活を過ごしてください。



日本大学総長代理 田中 範男 常務理事

日本大学は、山田顕義伯爵によって、明治二十二年、創立され、わが国最大の総合大学へと発展し、力強い歩みを続けています。

本校は、昭和三十三年に山形学園山形第一高等学校として創設され、昭和三十七年に日本大学の付属高校となり、日本大学の教育の理念と目的である『自主創造』に基づき、高等学校創設五十余年の節目を迎えました。

この恵まれた環境のもと、これまで以上に教育の「質の向上」をめざすべきものと考えます。教職員各自が自己研鑽に励み、皆さんと一緒に成長できる学校づくりをさらに前進させていきたいと考えています。

さて皆さん、今年はアメリカをはじめ世界中で

「リーダーの交代」が行われると言われており、従来とは異なる価値観や仕組みが作られようとしています。今までも一層複雑化する社会の中で生きていくための力を養うには、まさに高校時代に身に着けた教養と経験が土壌となります。つまり、高校で学ぶ時期は人間にとつて他のどの時期にも増して重要な意味を持つと考えられます。人格形成に大きな影響を与える多感な時期にこそ、明るく前向きな姿勢で自分の目標に向かって努力することの価値を実感し、一日一日を大切に、友達とともに成長していくことの素晴らしさに気がついてほしいと願っています。「文武両道」の校風のもと、豊かな人間性と正しい判断力を持った生徒に成長してください。



近藤 博七 校長

「リーダーの交代」が行われると言われており、従来とは異なる価値観や仕組みが作られようとしています。今までも一層複雑化する社会の中で生きていくための力を養うには、まさに高校時代に身に着けた教養と経験が土壌となります。つまり、高校で学ぶ時期は人間にとつて他のどの時期にも増して重要な意味を持つと考えられます。人格形成に大きな影響を与える多感な時期にこそ、明るく前向きな姿勢で自分の目標に向かって努力することの価値を実感し、一日一日を大切に、友達とともに成長していくことの素晴らしさに気がついてほしいと願っています。「文武両道」の校風のもと、豊かな人間性と正しい判断力を持った生徒に成長してください。

今年、干支は「辰」です。「龍翔鳳舞」の如く「龍のように力強く飛び、鳳凰のごとく華麗に舞う」という意味です。まさに輝かしい未来へ飛び立つてほしいと願ってやみません。また、世界の祭典でありますロンドンオリンピックが開催され、明るい話題と感動を得ると共に、世界中が一つになり平和な年になると確信いたします。

次に保護者の皆様に申し上げます。私ども教職員一同は、ご列席の保護者の皆様に対しまして、これまでのご苦勞をねぎらい申し上げ、併せて限りない可能性に富む新入生の入学を心から祝福し、歓迎いたします。本校の総力を結集して、教育成果を最大限に高めたいと決意を新たにしております。

しかし、教育の成果は学校の努力のみでは達成できません。保護者の皆様におかれましては、本校の教育方針をご理解いただき、密接な連携を保ちながら、積極的なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、二度

とない青春時代を、勉強に、クラブ活動に、有意義に過ごし、本校で過ごした時間が皆さんの人生の中で最も輝いたものになることを心から期待して、式辞といたします。「忍耐は全ての扉を開く」



新入生代表宣誓

平成二十四年度  
 高校一学年担当教員

- 主 任 工藤 秀男(英語)
  - 副主任 荒井 憲夫(英語)
  - 一 組 小嶋 佑治(理科)
  - 二 組 村田 亨(保健)
  - 三 組 永澤 良憲(公民)
  - 四 組 野川 淳(地歴)
  - 五 組 上野 忠(地歴)
  - 六 組 伊藤 恵二(国語)
  - 七 組 小笠原 篤(数学)
  - 八 組 太田 裕士(数学)
  - 九 組 永野 勝久(数学)
  - 十 組 河田 勤(英語)
  - 十一組 荒井 憲夫(英語)
  - 十二組 松浦 正治(国語)
- ◆学年付  
 廣瀬 純二(芸術)

# 平成二十三年 度 高等学校卒業式

早春の寒さも少し和らぎを感じさせる三月一日、厳肅な中にも感動的な卒業式が挙行され、四四一名が新たなスタートの時を迎え、爽やかな笑顔を残して学び舎を巣立っていった。君達の進む路に幸多からんことを祈る。  
卒業式にあたり、在学中の顕著な成績を讃えられ、授与された各賞受賞者をここに掲載する。

## 受賞者

### 一、総長賞(学業部門)

藤田 健太(新庄中)

### 二、優等賞

藤田 健太(新庄中)  
渡辺真一朗(山形三中)  
角張 祥子(上山北中)  
木村 豊(高島四中)  
金沢 省(金井中)

### 三、優秀賞(体育部門)

高橋 一成(蔵王一中)

### 四、皆勤賞

四九名

### 五、精勤賞

一三六名

### 六、学校長賞

四九名

### 七、大久保・矢野賞(努力賞)

片岡 真悟(山形一中)  
会田健太郎(山形一中)

### 代議員副議長

小林 晶生(日大山中)

### 学級委員長

高橋慎太郎(日大山中)

### 週番委員長

永井 雄大(楯岡中)

### 保体委員長

五十嵐拓弥(山形二中)

### 環境整備委員長

坂口 祥太(大江中)

### 図書委員長

荘 貴志(山大附中)

### 女子部専門委員長

工藤 紗耶(山形十中)

### 運動部部長

木村浩一朗(山形六中)

### 文化部部長

逸見はるか(山形六中)

### (3)体育賞

野球部 奥山 優士(宮城富谷中)

### 柔道部

瀬野 貴秀(桑山中)

### バドミントン部

晋道 圭太(山形一中)

### 陸上部

阿部 紘人(余目中)

### 男子バスケットボール部

会田健太郎(山形一中)

### ボクシング部

金子 洋一(山形五中)

### 剣道部

喜早 真悟(山形六中)

### サッカー部

浦山みゆき(山形三中)

### 男子バレーボール部

門間 駿平(山形九中)

### 水泳部

吉田 凌(河北中)

### スキー部

島田 湧斗(福島四中)

### 男子ソフトテニス部

佐藤 翔太(山形六中)

### 男子テニス部

豊田 魁(山辺中)

### 卓球部

大場 裕紀(山形四中)

### ラグビーフットボール部

石塚 祐伸(山形六中)

### 少林寺拳法部

玄地 克行(河北中)

### ゴルフ部

三浦健太郎(山形十中)

### 馬術部

高橋 一成(蔵王一中)

### 女子バレーボール部

石澤 美咲(山形一中)

### 女子ソフトテニス部

秋場 絹子(山形一中)

### 女子テニス部

今野 智子(中山中)

### 女子ハンドボール部

伊藤 優希(山形九中)

### 女子バスケットボール部

村田あさぎ(上山北中)

### フィットネス愛好会

多田 真望(上山北中)

### (4)文化賞

金子侑里香(山形二中)

### 生物部

坂口 祥太(大江中)

### 化学部

白田 成(町立朝日中)

### 英会話部

逸見はるか(山形六中)

### 文芸部

角張 祥子(上山北中)

### 美術部

石川 湖弓(天童四中)

### 書道部

浅黄友理子(日大山中)

### 音楽部

原田 悠希(金井中)

### 吹奏楽部

後藤 佑平(山形六中)

### 演劇部

齋藤 貴孝(楯岡中)

### 放送部

福岡由実子(蔵王一中)

### 漫画部

村山智栄大(日大山中)

### ダンスドリル部

櫻井 花菜(日大山中)

### JRC愛好会

佐藤智友紀(山辺中)

### 八、栄光のメダル

#### (1)金メダル

該当者なし

#### (2)銀メダル

陸上部 一名

ボクシング部 三名

馬術部 一名

### (3)銅メダル

野球部 七名

柔道部 二名

陸上部 四名

男子バスケットボール部 二名

ボクシング部 三名

男子バレーボール部 四名

水泳部 二名

スキー部 一名

男子テニス部 五名

ラグビーフットボール部 三名

少林寺拳法部 六名

ゴルフ部 一名

女子テニス部 五名

女子ハンドボール部 五名

新体操 一名

(4)文化賞メダル 十名

吹奏楽部 四名

演劇部 四名

ダンスドリル部 四名

### 九、学外賞

(1)日本私立中高連理理事長賞

生徒会長 田中井大和(日大山中)



卒業式での表彰

# 平成23年度 合格状況

( ) は過年度生の内数

## ● 日本大学 154(4)名

法学部	16名	国際関係学部	5名	歯学部	2(1)名	短期大学部	6名
文学部	15(3)名	理工学部	18名	松戸歯学部	2名	看護専門学校	3名
経済学部	14名	生産工学部	31名	生物資源科学部	11名		
商学部	17名	工学部	10名	薬学部	4名		

## ● 国公立大学・短期大学 63(18)名

弘前大学	1名	宇都宮大学	1名	横浜国立大学	3(1)名	山形県立保健医療大学	3(3)名
岩手大学	1(1)名	埼玉大学	2名	新潟大学	7名	福島県立医科大学	1(1)名
東北大学	5(2)名	千葉大学	5(1)名	富山大学	1名	神奈川県立保健福祉大学	1名
山形大学	19(4)名	電気通信大学	1名	金沢大学	2(1)名	神戸市立外国語大学	1名
福島大学	3(1)名	東京工業大学	1名	宮城大学	3(2)名	秋田公立美術工芸短期大学	1(1)名
筑波大学	1名						

## ● 日本大学以外の私立大学・短期大学 309(87)名

岩手医科大学	2(1)名	國學院大学	1名	東海大学	4(2)名	東京都市大学	1名
東北学院大学	33(5)名	国士舘大学	1名	東京家政大学	1名	明治大学	10(1)名
東北福祉大学	19(4)名	芝浦工業大学	4(1)名	東京歯科大学	1名	明治学院大学	1名
東北薬科大学	4(1)名	昭和女子大学	1名	東京女子大学	1名	明治薬科大学	2(2)名
宮城学院女子大学	5(1)名	女子栄養大学	1名	東京女子体育大学	1名	立教大学	1(1)名
東北文教大学	7名	成蹊大学	4名	東京電機大学	2(1)名	早稲田大学	2(1)名
東北芸術工科大学	5(1)名	創価大学	1名	東京農業大学	5(3)名	神奈川大学	5(4)名
獨協医科大学	2(2)名	大東文化大学	3(2)名	東京薬科大学	1名	関東学院大学	6名
文教大学	2名	拓殖大学	2名	東京理科大学	14(8)名	同志社大学	3(1)名
亜細亜大学	1名	中央大学	5(1)名	東洋大学	3(1)名	東北文教大学短期大学部	6名
青山学院大学	3名	津田塾大学	1(1)名	日本歯科大学	4(2)名	羽陽短期大学	6名
北里大学	6(5)名	帝京大学	2名	法政大学	11(4)名	大妻女子大学短期大学部	3(1)名

ほか

## ● 専門学校 70(1)名

国立病院機構山形病院付属看護学校・山形市立済生館高等看護学院などを含め看護・医療系など19名

## ● 就 職 14名

公務員	8名	山形県警察官／警視庁警察官／西村山広域行政事務組合消防士／山形市消防士2名／ 陸上自衛官3名
一般企業	6名	東北電化工業(株)／(株)コヤマ／(株)旅館古窯／(株)テイクオフ2名／ (株)エム・エル・シー



全国高校総体 優勝 小原 健汰 (山形新聞提供)

# 部活動報告 後期

スキー部 小原 健汰 国体、インターハイで優勝！  
上野世玲奈 選抜大会で二位！

## スキー部

全国高校総体

男子大回転 優勝

小原 健汰(鶴岡一中)

男子回転 八位

小原 健汰

国民体育大会

男子大回転 優勝

小原 健汰

全国高校選抜スキー大会

男子大回転 十位

小原 健汰

男子回転 四位

小原 健汰

女子回転 二位

上野世玲奈(立川中)

## 新体操

全国高等学校新体操選抜大会

総合 十二位

佐々木真子(山形六中)



全国選抜大会2位の上野世玲奈 県大会にて (山形新聞提供)

## 水泳部

第六十六回国民体育大会

水泳競技大会

少年B 男子四〇〇Mメ

ドレーリレー 第六位

奥山 翔太(山形五中)

佐々木 友(天童一中)

少年B 五〇M自由形

出場

奥山 翔太

少年B 一〇〇Mバタフ

ライ 出場

佐々木 友

少年B 女子四〇〇Mメ

ドレーリレー 出場

齋藤亜彩美(陵南中)

少年A 女子四〇〇Mリ

レー 出場

安達 雪鈴(山形五中)

春季ジュニアオリンピック

クカップ

一〇〇M・二〇〇Mバタ

フライ 二〇〇M背泳ぎ

出場

佐々木 友

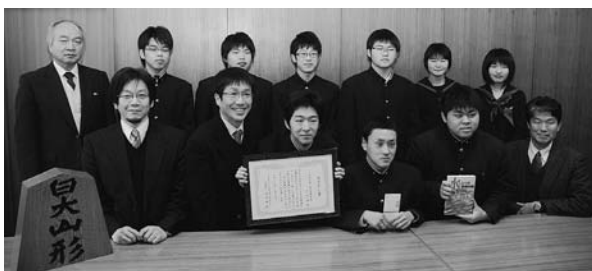
五〇M・一〇〇M・二〇

〇M 自由形 出場

奥山 翔太

四〇〇M 自由形 出場

安達 雪鈴



生物部 本校にて表彰式を終えて

男子バレーボール部

東北私学大会

決勝戦 0-2羽黒

準優勝

全国私学大会に出場

ボクシング部

東北高校新人大会

I部 ライトフライ級

二位

川合 丈(山形三中)

II部 ライト級 三位

三沢 匡輝(蔵王一中)

生物部

日本水環境学会東北支部

東北水すまし賞受賞

# 学年主任の抱負



一学年主任  
工藤 秀男

## 新入生に期待すること

四六七名の新入生には、まず三年後の自分をしっかりとイメージして将来のブループリントを思い描いてほしいものです。それは高校生活の目標を実現して、自分の可能性を全開する進路を切り拓くことを意味します。学業にいそしみ、部活動ほか、さまざまな学校行事に積極的に参加することで、充実した三年間の高校生活を送ってください。将来、日本国民として大震災からの復興や日本社会の新生に貢献することのできる人材になってほしいと願っています。

そのためにも、これからの三年間が人生の基盤を整える大切な準備期間であることを深く理解して幾多の試練に雄々しく立ち向かい、「日に日に新たに」日々の成長を積み重ねていってくださることを心から期待しています。  
Boys, be ambitious!



二学年主任  
池田 卓郎

## 中堅学年として

四月六日、日本大学山形高等学校で二度目の春を迎えました。新しい学年に気持ちが高揚する生徒がいる中で、高校生活に慣れて気が緩む生徒が多く出る時期でもあります。勉強に生徒会活動に、そして生活面において「仕切り直し」に期待します。ポイントは帰宅時間、家庭学習開始時間、就寝時間、起床時間を固定化させ、無理のない生活習慣を構築することです。

高校での生活は「十年後の自分に目標を設定して、日々精進することだ」と思います。生活面のスキルアップに、図書館利用をお勧めします。図書館には新聞、新書、月刊誌等多くの情報が有り、特に新聞の一面にコラム欄があります。各新聞社は、日々の社会情勢を分かりやすく掲載しています。図書館に通う習慣をつけましょう。「継続は力なり」学習はもちろんですが、また、部活動、学校行事にも積極的に参加をしてください。全てが楽しい人生の糧になります。



三学年主任  
平 和典

## 大きな夢

今年度から第三学年主任となりました平和典です。高校三年次は人生の分岐点。これからの人生の夢と希望をいかに結果につなげられるかの勝負の年だと思います。二年次までの学校生活や二者面談・三者面談を通して自分の目標も、より具体的に見えてきたことでしょう。あとは迷わず実行あるのみです。学習も部活動も基本的には自分との戦いです。自分の甘えと戦い、多くの誘惑と戦い、強い意思としっかりした計画を持って、大切な新学期をスタートしましょう。自分との戦いは苦しいものですが、今苦しめば苦しむほどに、その先にとっても大きな喜びが待っています。最後に自分を褒めることができ、卒業後の人生でも大きな自信となるような戦いを期待します。

第三学年教員全員も受験環境をしっかりと整え、すべての生徒の進路決定まで全力で戦います。

# 新任教職員紹介

よろしく  
お願いします



近野 仁美 先生  
(国語)

教員生活も七年目を迎えた今年、母校で勤務できることとなり大変嬉しく思います。生徒でいた頃より様子が変化しているため慣れるまでは不安もありますが、これまで他校で経験してきたことを生かしながら新たな気持ちで日々邁進し、生徒だけでなく自分の能力も向上させていきたいと考えています。宜しくお願い致します。



沼倉 恵美子 職員  
(保健室)

昨年の十月から保健室にきました沼倉恵美子です。家族は、夫一人、子供二人、犬二匹、亀三匹です。約二十年間の専業主婦生活から社会復帰を遂げ、日々悪戦苦闘しながらも松田先生と一緒に楽しく保健室業務を行っています。多方面で輝いている日大山形に勤務できることをとても光栄に思います。どうぞよろしく宜しくお願いします。



仲島 達也 先生  
(保健体育・公民)

今年度から保健体育と公民を担当します仲島達也です。部活動では、柔道部顧問もさせて頂きます。卒業生であるため、教員という立場で母校の教壇に立てる事を大変嬉しく思います。生徒のみなさんに負けないように明るく過ごし、日大山形が益々素晴らしい学校になるように貢献したいと思えます。どうぞよろしく宜しくお願いします。



片桐 忠明 職員  
(警備員)

夜警という初めての仕事ですが、先生・職員の方々へ迷惑がからないように働いていきたいと思えます。また、日大山形の生徒の皆さんの安全を第一に考え、より良い学校づくりに一役買えるように一生懸命に働きたいと思えます。よろしくお願いたします。

中学校

感謝の気持ちで  
卒業式



例年はない豪雪に見舞われ、漸く春の兆しを感じられる弥生十五日、二十六名の卒業生が義務教育を終え、慣れ親しんだ学び舎を巣立っていった。厳粛な中で学校長から一人ひとり卒業証書を授与され、緊張した面持ちの卒業生の誰もが充実した眼差しをしている。その笑顔の中に、この三年間の生活が見て取られる。送る者、送られる者それぞれに去来するものなのか。在校生総代として工藤かえで生徒会長は「人との出会いの大切さ」を相田みつを氏の詩に託して送辞とした。



3年間の思いを胸に

卒業生総代として新田

大陸前生徒会長も「同級生そして後輩との出逢いの大切さ」に触れた。昨年の震災を体験した彼らにとって「人との出逢い、触れ合い、絆」が如何に大切であったか身をもって感じたのだろう。行事に参加した思い出、在校生に引き継ぐ想い。更には先生方、両親に対する感謝の念を述べた答辞は会場の涙を誘うものであった。



最後のHR

四月十四日(土)に市中国伝大会があかねが丘陵上競技場で行われた。大会を前に、二・三年生とも昨年の二学期半ばからクラス全員で走り始め、春休みも計画的に練習に励んできた。



大会



応援もランナーも一丸となった駅伝大会

中学校

第12回ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ  
付属高校生のイースター・プログラム

三月十八日〜四月四日、恒例の語学研修が行われた。本校はじめ各付属校二十四校から三三三、七十二名が充実した研修を行った。英語での授業のほか、郊外への遠足あり、ロンドン見学ありと楽しい経験だったようだ。

三月十八日〜四月四日、恒例の語学研修が行われた。本校はじめ各付属校二十四校から三三三、七十二名が充実した研修を行った。英語での授業のほか、郊外への遠足あり、ロンドン見学ありと楽しい経験だったようだ。

大学の街ケンブリッジ

三年 三上 彬光



今回のプログラムでケンブリッジに行かせてもらった僕はとても素晴らしい発見をしました。それは、ケンブリッジは街の名前であり、その街にある大学すべての総称ということ

街には学生が学び研究するための設備が備わっており、有名な教授、研究者も多くと聞きました。アカデミックな街の雰囲気がとてもよかったです。カレッジ内の芝生の端で熱心に学術書を読んだり、小さなパブのようなところで議論合っている学生がいる風景を頻繁に目にしました。日本には無いような雰囲気の中、自由に自分のために勉強が出来る理想の環境だと思

いました。

アクティビティの思い出

二年 佐藤 那奈



私はケンブリッジ大学に研修に行きました。その中でも一番楽しかったのは、PA(プログラム・アシスタント)とのアクティビティです。アクティビティでは、新聞を使ったファッションショーや映画鑑賞、パンティングなどたくさんしました。特にファッションショーは、とても盛り上がりました。モデルを選び、自分達でアイデアを出し全て新聞で作りました。私達のチームは、賞をもらったのでうれしかったです。

私は今回のこの研修を通して、色々なことを学



ケンブリッジの街の風景

び私自身、大きく成長できたと思います。本当に行ってよかったです。

授業を受けて気づいたこと

二年 山本あい架乃



研修中、一番感じた事は自分の英語力の低さと自信の無さだった。それを最も強く感じたのは、現地の先生との授業だった。

授業は十数人のクラスに分かれて行い、そのクラスで市内の歴史ある大学を見に行ったり、劇をしたり、ゲームをしたりする。先生から意見を求められる事も多く、「発音や文法が間違っているのでは」と自信が持てなかつたが、日が経つにつれ慣れて、頭の中で必死に単語を絞り出し、身振り手振りで相手に言いたい事を伝えられるようになった。

異国の人を意識を伝えるのは難しい。だからこそ、更に頑張っていくたい。



新聞紙のファッションショー

日大山形ハイスクールレポート

# Be Ambitious

★ リポーターのJORIが日大山形高校に突撃取材!  
学校内での出来事や部活動の活躍などを、  
生徒や先生にインタビューします。

● FM山形 (80.4MHz)  
毎週金曜日 17:55~17:59  
4月6日~7月27日まで放送決定!

## 学校説明会

全体説明と個別相談・校舎見学・部活動見学

	期 日	会場及び時間
第1回	平成24年 10月14日(日)	受付 9:20~ 9:55 説明会(第一体育館) 10:00~11:40
第2回	10月21日(日)	以下は希望になります。
第3回	11月18日(日)	{ 個別相談 11:40~ 校舎見学 11:40~12:10(予定) 部活動見学 11:40~12:30(予定)
第4回	12月 2 日(日)	
第5回	12月16日(日)	

※上記以外の期日に学校参観をご希望の方は、ご遠慮なくお電話の上ご来校ください。  
※部活動見学については、見学参加前にお問い合わせください。  
(023-641-6631 担当/小笠原、渡部)

※学校説明会では、学校生活全般、並びに入試に関する詳しい説明を致します。  
※事前のお申し込みは必要ありません。上履きをご持参ください。

## フオト・ア・ラ・カルト



入学式の登校風景



緊張の初ホームルーム



2年生沖縄修学旅行



中学校卒業式



オリエンテーション

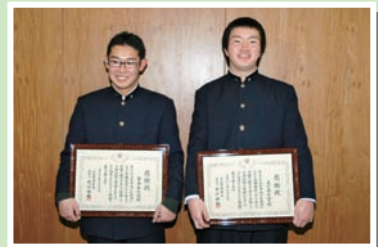
## 人命救助で表彰

昨年十二月、本校二年生(当時)の二名が川へ落ちた老人を助け、山形警察署長から感謝状を贈られた。

会津杏志郎君(山形一中)と五十嵐大智君(米国・フォレストヒルズ・ブローザン中)ともにラグビー部の二人は十二月五日、期末考査終了後の午後一時頃、学校の近くの元木橋を

通りかかった時、川の中に胸まで浸かっている老人を発見しすぐに助けに向かい、引き上げた。老人は自転車で土手を走っているうちに誤って滑り落ちたらしい。

表彰式では山形警察署長から、「高校生、だけでの人命救助は珍しく、とても立派な行為である」と声をかけられた。



## 編集後記

「桜花爛漫」。桜の花が満開になり、見事に咲き乱れているさまのことを言う。桜の季節。桜の美しさを今一度考えてみたい。日本人は桜の季節になると、春の訪れを感じるとともに、桜の開花を心待ちにする。満開に咲き誇るたくましい姿に勇気と壮大さを感じ、そして桜花の命の短さと散る姿に、「ものあはれ」や「はかなさ」を感じる。この美しさに心奪われる日本人は多い。桜は美しい。満開に咲き誇る姿も、一枚一枚の花びらも。本校の校章にもこの日本の国花である桜が使われている。本校には多くの桜の木が立ち並び、生徒たちを毎朝迎え入れ、彼らの成長を見守っている。そんな本校の桜の蕾は開花を今か今かと待ち望むかのように膨らみを見せている。入学式を迎え新たな蕾をつけた桜の開花は間もなく。「桜花爛漫」。この一年、そして、来年も再来年もその先の未来まで、生徒一人一人の「希望」という美しい桜の花が満開となり、見事に咲き乱れる姿を心待ちにしたい。

日本大学山形高等学校・中学校広報部  
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘四一五五  
電話 〇二三一六四一―一六六三二(代)  
FAX 〇二三一六四一―一六六三四  
URL <http://www.yngt.h.s.nihon-u.ac.jp>  
印刷 (株)大風印刷  
写真提供 (有)カメラの石山